

チェコ経済月報（11月）

主な動き：

- 11月1日・2014年予算執行、暫定予算（2013年予算の12月平均執行）の可能性大。・財務省、50～100億CZKの国債発行を検討。
- 2日・米国商務省、チェコ他6カ国のgrain oriented electrical steel輸出についてダンピングを懸念。・チェコ中銀、役員会で為替介入を支持。
- 5日・ゼマン大統領、次期政権の閣僚にa clean lustration report（共産政権時、秘密警察等と関係が無いとの証明）を求める。・PPF（投資ファンド）、テレフォニカ・スペインからチェコ02の69.4%のシェアを650億CZKで購入予定。・OKD（炭鉱会社）、12千の労働者の2/3が給与問題でスト決行に賛成。
- 6日・ドイツ・カソリック教会、教会資産返還法下の資産500件を告訴予定。資産は17千haの森林であり、資産返還法対象の1/10に相当。・警察、Artesa信用基金、VAT税に関する脱税調査。
- 7日・ANO、バビッシュ氏、スロバキアのa clean lustration report入手困難で入閣断念か。・ルスノク首相、1日当たりの入院費用60CZK（子供は除く）（現行は100CZK）を閣議承認。・年金の第2の柱、10月加入者395人に止まり、総計83千人となる。
- 8日・チェコ中銀、チェコ・コロナ安の為替介入、目標は27CZK/ユーロ（7日）、（6日25.785→7日26.850czk/ユーロへ下落）。・デロイト関係者、中銀、為替5%下げ介入で数十億czkを拠出と見込み、為替介入を懸念。・新民法、新会社法において、従業員50人以上の企業における従業員の経営参加規則を廃止。労組（CMKOS）、法案修正を求める。
- 11日・チェコ中銀、7日のチェコ・コロナ安介入で20億ユーロを拠出。Cheská spořitelna銀エコノミスト、為替介入の反動を過小評価と批判。産業連盟、企業への影響は現段階で予測不可。・産業省、2040年までのエネルギー需給政策を公表。エネルギー消費見通しを引き下げ。他方、テメリン拡張がエネルギー供給の中心軸に。
- 12日・OKD労組、11月19日に4時間スト決行を確認。・HN紙社説、チェコ中銀のチェコ・コロナ安介入を批判。エコノミストは騰貴を懸念。・電化品等の輸入品の売上げ、コロナ安を受けて急増。・10月消費者物価、0.9%増、2010年3月依頼の低さ、チェコ中銀、デフレを懸念。・次期政権協議、CSSDの主張する年金「第2の柱」廃止にKDU-ČSL、ANOは賛成。・教会への資産返還で、本年末までに教会は、20億CZK（総額590億CZK）を受領する予定。ネチャス前政権下では、国債による手続きが検討されていたが、本年は調整時間が無く困難な模様。・産業省公表のエネルギー政策では、テメリンの原発2基拡張、デュコバニー原発利用を60年に延長、2040年にデュコバニー原発2基拡張し、原発利用を52%、石炭を60%から16%へ引き下げへ。
- 13日・中銀・シンガー総裁、27CZK/ユーロ水準を長期間維持、為替介入は金利引き下げと同じ効果と語る。・ゼマン大統領、中銀ボードメンバーにルスノク首相を検討。ゼマン大統領、習・中国主席の中国招待を受ける。・CEZ（電力会社）、固定配電による通信参入、年間750CZKの増益可能に。
- 14日・ルスノク首相、チェコ中銀の為替介入に、輸出に好影響と理解。シュコダ自動車、為替変更なし。農業会、肥料等の価格上昇を懸念。・OKD労使、2014～18年の基礎給与について合意。・ソボトカCSSD党首、年末には、ANO、KDU-ČSLとの協議を了し組閣へ。・ルスノク首相、ワルシャワにて中国首相と会見。
- 18日・中銀・シンガー総裁、為替水準の27CZK/ユーロからの変更はないと声明。・EU委員会、Danube-Oder-Elbe運河開発の予算計上はない。・税務当局、VAT税汚職で80百万CZKを没収。
- 19日・民間銀行、チェコ中銀の為替介入で預金引き出しの動きなし。・CSSDとANOの連立協議は税制問題に収斂。
 - ・シュコダ自動車、2007年以来、中国VW工場に1百万台の自動車を生産。

- 20 日・中銀・リーサル理事、28CZK/ユーロの可能性もあると示唆。一部では、農業産品上昇も。・OECD、チェコの本
年成長率を▲1.5%へ下げる。2014 年は 1.1%。・バビッシュ氏（ANO 党首）、チェコの大手ラジオ局を買収。
・ANO、CSSD と 2016 年まで現行税制維持で同意。他方、CSSD 側は否定。・CSSD、ANO、議員の資産公開について
合意。・ムラデック CSSD 議員（歳相候補）、年金の物価インデクセーション 2015 年から開始、ANO 提案の V A
T 税率下げ（15→10%）を本、医療のみに留めると語る。
- 21 日・チェコ中銀、ソボトカ CSSD 党首が政府としても為替介入を検討の発言に対し、中央銀行の独立を名言。・自
動車燃料、中銀の為替安介入で上がり始める。・CSSD、KDU-ČSL との累進税導入等の税制については大筋合意。
- 22 日・ソボトカ CSSD 党首、連立協議はいかに財政赤字を GDP 比 3%内におさめるか、ANO が歳入増の手段を示せ
ば CSSD は法人税引上げをしないと明言。また、行政の効率性の観点から、首相、財務大臣、内務大臣は同一
等から任命必要。・ヒュンダイ、為替安介入で自動車価格変更ない。・ゼマン大統領、ソボトカ CSSD 党首と面
談、首相指名を確約。
- 26 日・チェコ中銀、為替介入に 2000 億 CZK を投入、70 億ユーロ買いを実施。
- 27 日・開発地売買にかかる VAT 税、0→21%増税へ、2014 年 1 月より施行。PPF（投資ファンド）、テレフォニカを 65.9%
買収。
- 28 日・石炭採掘規制に対して、Ústí nad Labem 地域支所で抗議活動。・保健省、年金の物価スライドを年 2 回実施
法案を提出検討。
- 29 日・ソボトカ CSSD 党首、2014 年予算の年内可決に ANO と同意。・為替安介入は、消費行動に影響を及ぼさないとの
調査。

経済動向：

- （1）チェコ経済は、欧州景気の低迷から景気後退。GDP は、2011 年初以降マイナス成長。失業
率は 7%台に高止まり。他方、鉱工業生産、貿易等の指標では回復の兆し、景況感も上向き
方向。物価は 1%台に沈静化。
- （2）チェコ中銀が、11 月 7 日、チェココルナ安為替介入（目標対ユーロ 27 コロナ）。為替は、
26 コロナ/ユーロ後半で推移。金利（10 年物国債）は、2%台で安定的に推移。

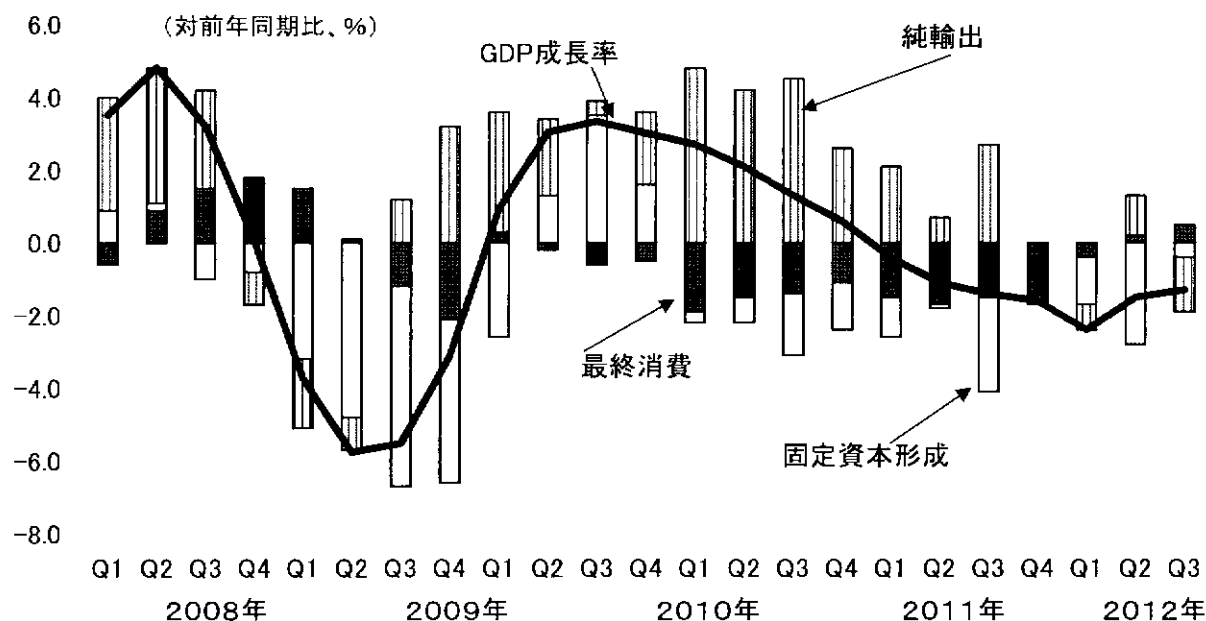
コラム：

- ・チェコ中銀の為替介入について。
- ・チェコの対外債務について
- ・チェコの賃金動向について

注：本報告は、チェコ政府公表資料、新聞等報道資料をとりまとめたもの。

1. GDP

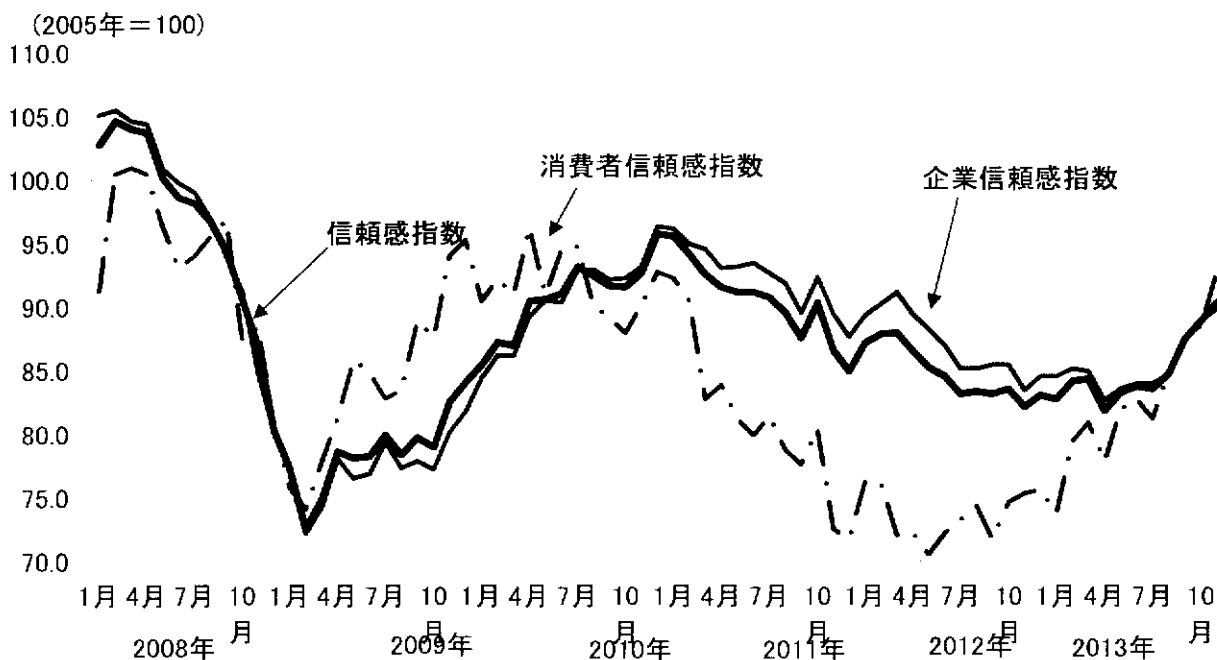
2013年第1四半期対前年同期比▲2.3%減の後、第2四半期同▲1.5%減、第3四半期同▲1.3%減となった。第3四半期の寄与度をみると、固定資本形成（投資）はマイナスだったが、国内消費、特に政府消費の寄与が大きかった。



	2010年	2011年	2012年	2012年 Q3	Q4	2013年 Q1	Q2	Q3
GDP成長率(%)	2.5	1.9	▲0.9	▲1.2	▲1.4	▲2.4	▲1.5	▲1.3

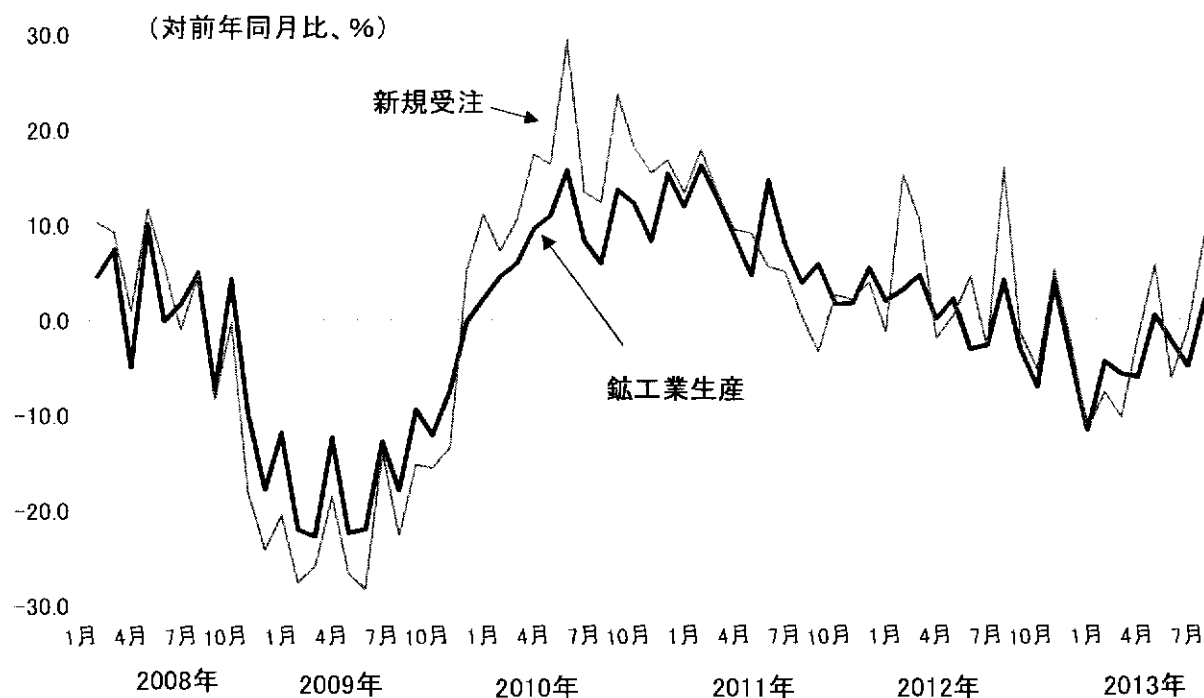
2. 景況感

信頼感指数（総合C I、2005年＝100）は、10月88.9の後、11月90.4となった。企業信頼感指数は、10月89.0の後、11月89.9となった。消費者信頼感指数は、10月88.5の後、11月92.8となった。



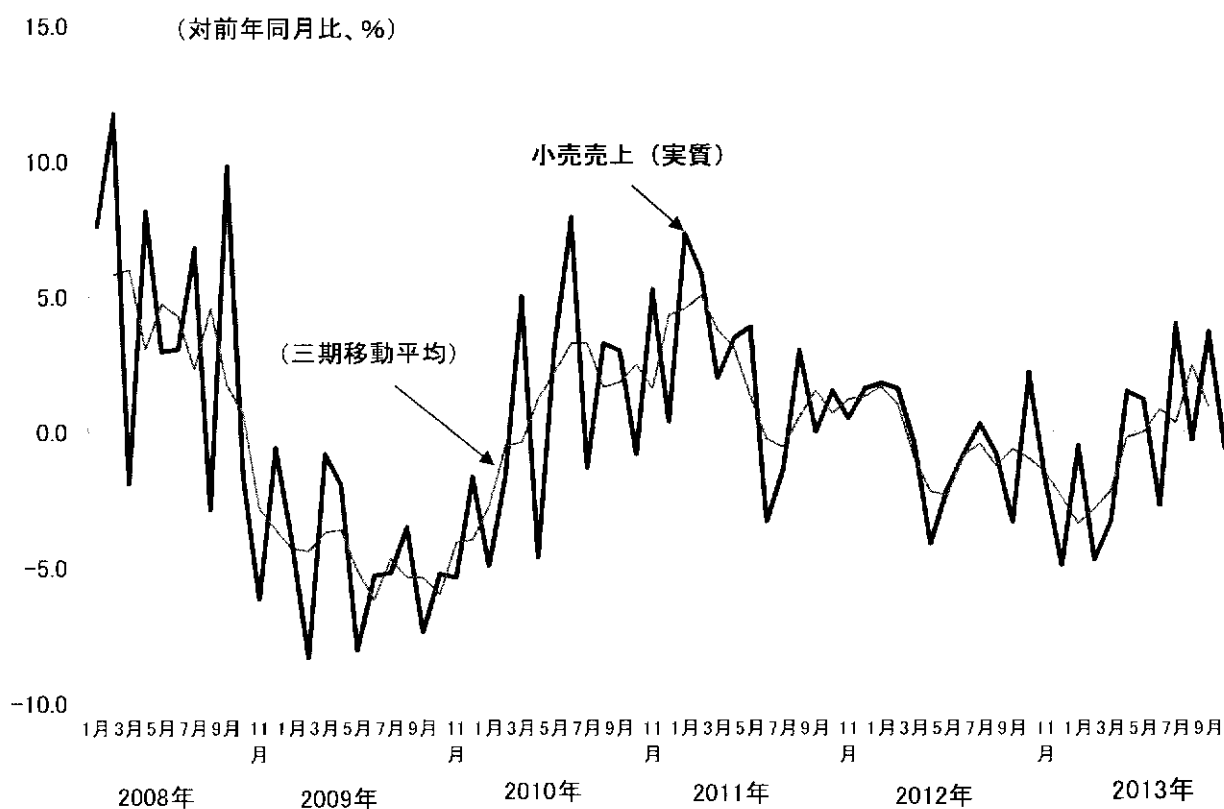
3. 生産

鉱工業生産は、8月は対前年同月比1.6%増となった後、9月同7.1%増となった。新規受注は、8月同12.3%増となった後、9月同16.0%増となった。



4. 消費

小売売上高（実質）は、9月対前年同月比4.5%増となった後、10月同▲0.6%増となった。

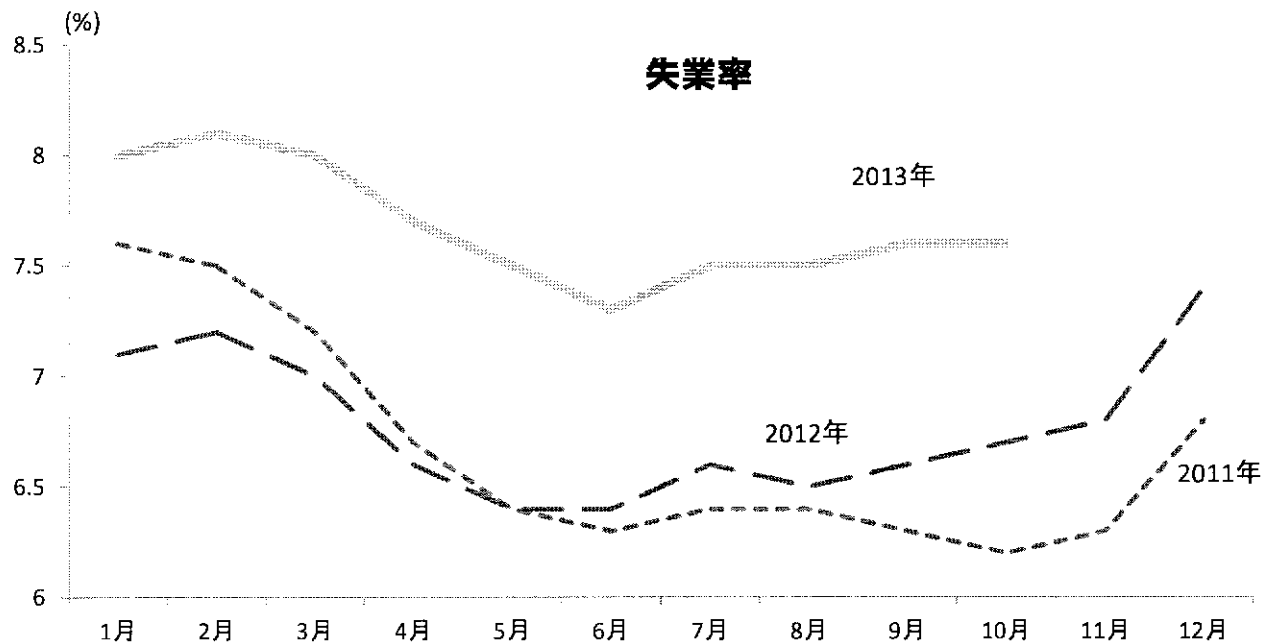


5. 雇用

(1) 賃金（実質）は、2013年第2四半期前年同期比▲0.3%減となった後、第3四半期同0.1%増となり、賃金（月額、名目）は、24,836コルナとなった。

(2) 失業率（失業者のシェア）は、9月7.6%の後、10月7.6%と高止まりしている。

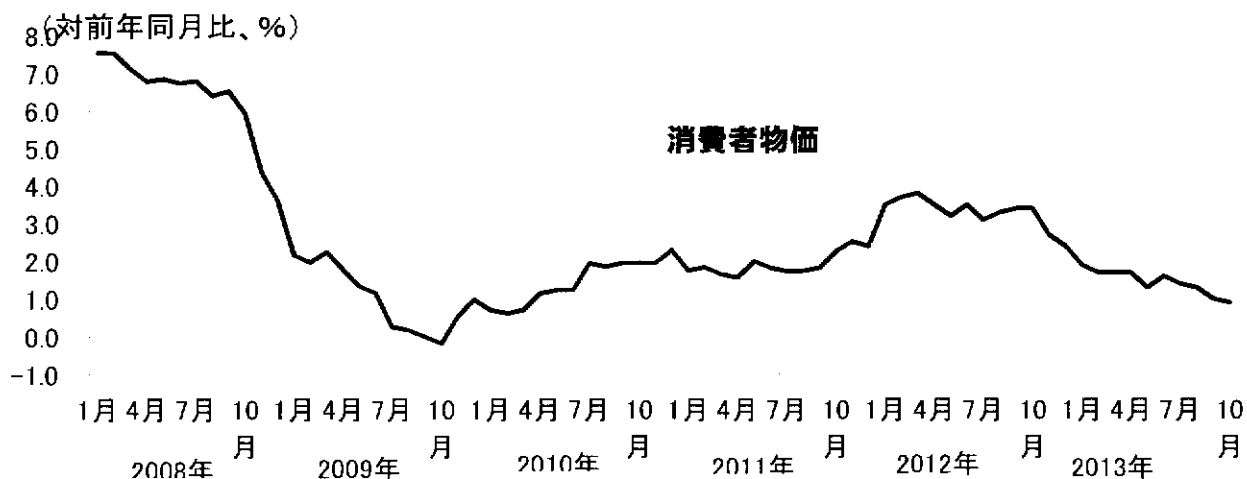
なお、ILO基準では9月6.9%(8月7.3%)。



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年 8月	8月	9月
失業率(%)	4.1	6.1	7.0	6.7	6.8	7.5	7.6	7.6

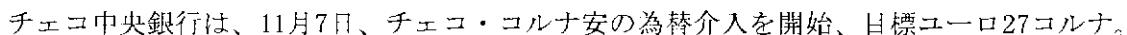
6. 物価

消費者物価は、9月は対前年同月比1.0%増となった後、10月同0.9%増となった。



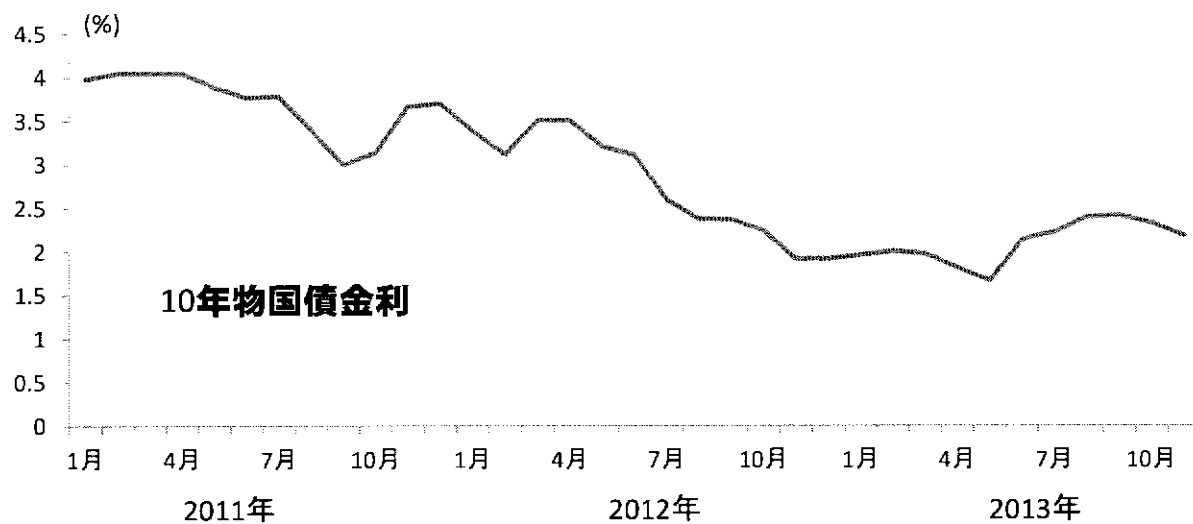
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年 8月	9月	10月
物価上昇率(%)	6.4	1.1	1.4	1.9	3.3	1.3	1.0	0.9

輸出(FOB)は、8月対前年同期比1.9%増となった後、9月同8.3%増となった。輸入(CIF)は、8月同0.1%増となった後、9月同7.2%増となった。



(2) 国債金利

10年物（長期）は、10月2.33%、11月2.18%。(Maastricht Criterion)



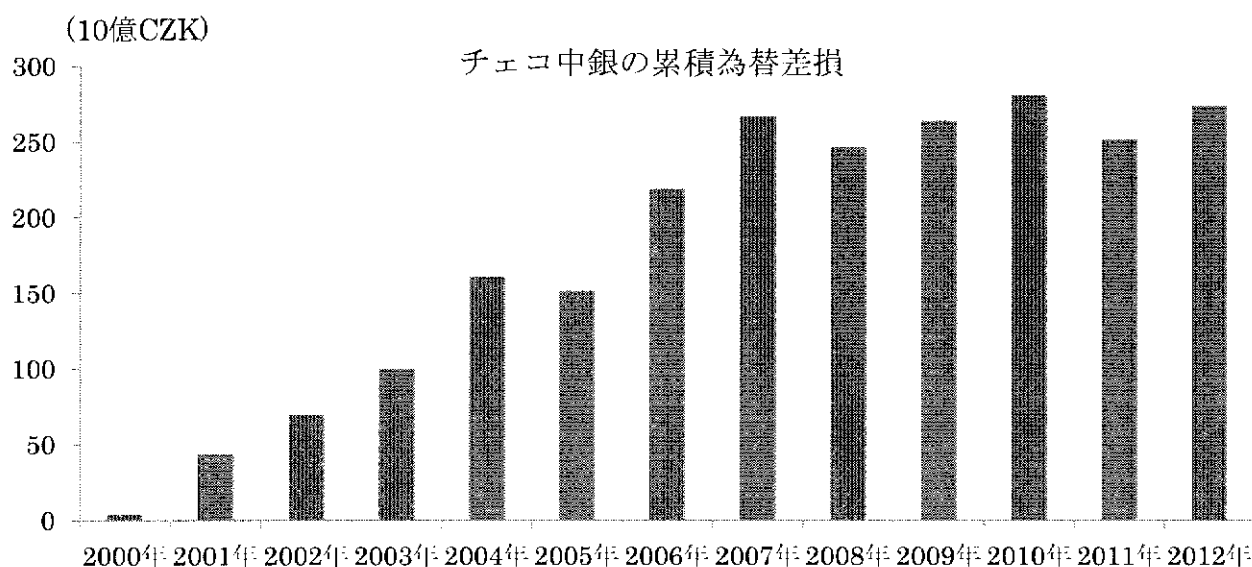
コラム：チェコ中銀の為替介入について

概要

- ・11月7日、チェコ中央銀行（CNB）は、2002年以来初めて、為替介入を行った。介入はチェコ・コルナ安誘導、27CZK/EURを目標としている。
- ・チェコ・コルナ安誘導の為替介入の理由は、金利が0水準（0.05%）にあり、デフレ・リスクの予防にあるとしている。デフレは、単に物価下落をさすのではなく、名目金利と物価の変動の相関性が失われた状態をさし、デフレは借り手の支払い能力を損なうと同時に、家計消費や中小企業による投資を先送りさせ経済全体を麻痺させるため、それを予防するため、為替介入を行った。
- ・チェコ中銀は、チェコ・コロナ売り、外貨買い介入で初（7）日に、400億CZKを投入。この結果、短期的には中央銀行に外貨準備が増すが、長期的にはチェコ・コルナ安を維持するとなると、損失が発生する恐れがある。

反応

- ・輸出増、輸入減がもたらされるが、海外景気の低迷で必ずしも輸出増に結びつくかは疑問。
- ・国内物価、特に、影響を受けるのは食料品、原燃料価格であり、家計への影響として、輸入物価の上昇により、支出抑制に動く可能性が高い。
- ・他方、デフレ予防の措置として為替介入を行っているが、天然ガスの国際価格の安定や、ユーロ圏諸国の物価が下方へ触れていることから、為替介入の影響は小さいとみられる。



(出典) 11月7日、12日付「CTK通信」、18日付「E15誌」。

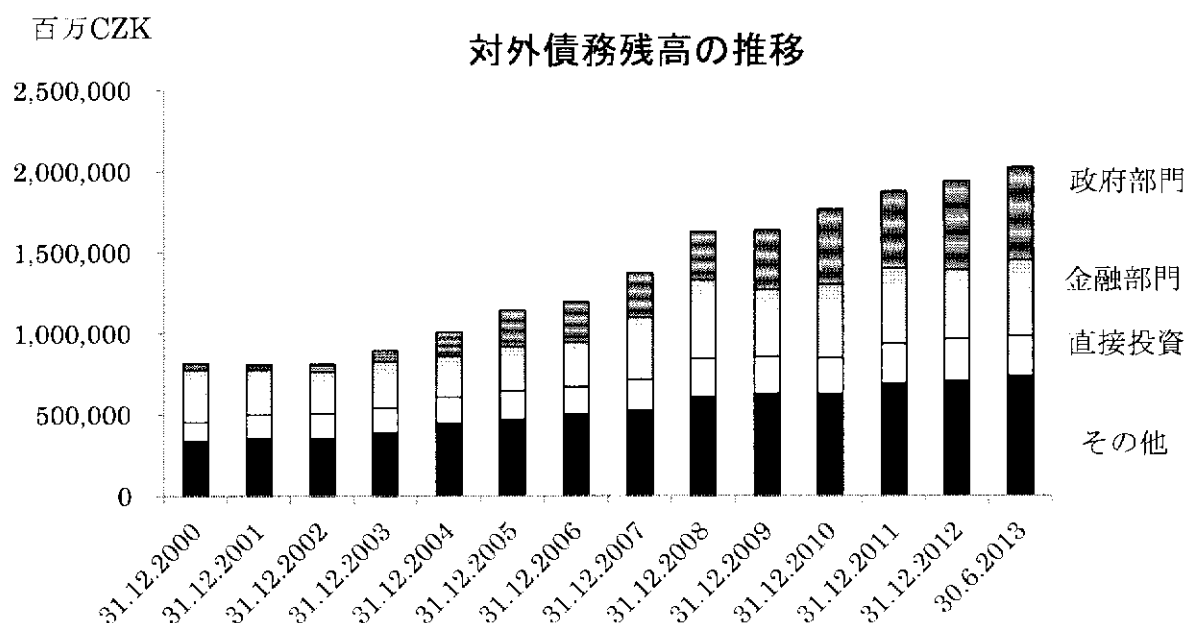
コラム：チェコの対外債務について

概要

- ・チェコの対外債務(Total External Debt)は、2013 年第 2 四半期末には GDP 比 53.1%、20,254 億 CZK（1,021 億ドル）。
- ・対外債務の債務期間は、1 年以上の長期債務が全体の 74.6%。また、長期債務の 46.1%は民間部門の債務となっている。
- ・対外債務の半分にあたる 48.7%が民間部門となっている。このうち、規模が大きいのは金融部門（中央銀行を含む）であり、短期債務購入が中心となっており、全債務の 23.2%となった。

対外債務残高の構成（2013 年 6 月末現在）

総 額	政府	中央銀行	民間金融機関	その他	直接投資
20,254 億 CZK (100.0%)	5,691 億 CZK (28.1%)	46 億 CZK (0.3%)	4,658 億 CZK (23.0%)	7,371 億 CZK (36.4%)	2,485 億 CZK (12.3%)



(出典)2013 年 9 月 30 日付、CTK 通信、CNB データ。

コラム：チェコの賃金動向について

概観

- ・2013 年第 3 四半期の平均月額賃金は、24,836CZK（約 127,657 円(注：チェコ・コルナ=5.14 円（2013 年 9 月平均））
- ・2/3 の労働者は、平均月額賃金以下の賃金となっている。
- ・月額賃金の中央値（median wage）は、21,331CZK（約 109,641 円）、うち男性 23,197CZK、女性 19,061CZK）。
- ・プラハの平均賃金は、32,278CZK（約 165,909 円）
- ・最低賃金は、8,500CZK（約 43,690 円）

業種別	賃金（前年からの増加額） CZK
チェコ平均賃金	24,836 (+ 322)
農業	21,044 (+ 794)
工業	24,864 (+ 497)
製造業	24,446 (+ 520)
建設業	22,487 (- 521)
卸・小売業	23,248 (+ 462)
運輸業	23,614 (+ 457)
宿泊・レストラン業	13,986 (+ 500)
情報通信業	45,834 (- 209)
金融業	45,178 (- 535)
不動産業	21,417 (- 295)
科学技術	31,052 (+ 402)
事務管理	16,969 (+ 312)
行政事務	24,593 (- 123)

(出典)12 月 5 日付、プラヴォー紙、チェコ統計局。

(参考) 主な機関のチェコ経済見通し

機 関 (公表時期)	2012年実績値	チェコ中央銀行 (2013年11月)		チェコ財務省 (2013年10月)		OECD (2013年11月)		EU (2013年11月)		IMF (2013年10月)	
		2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年
成長率 (%)	▲1.0	▲0.9	1.5	▲1.0	1.3	▲1.5	1.1	▲1.0	1.8	▲0.4	1.5
＜ユーロ圏成長率(%)＞	▲0.7	-	-	▲0.4	1.0	▲0.4	1.0	▲0.4	1.1	▲0.4	1.0
インフレーション (%)	3.3	1.4	0.6	1.4	0.7	1.4	1.0	1.4	0.5	1.8	1.8
失業率 (%) *	7.0	7.1	7.6	7.1	7.3	7.0	6.9	7.1	7.0	7.4	7.5
財政収支 (GDP比、%)	▲4.4	▲2.6	▲2.5	▲2.9	▲2.9	▲2.9	▲2.9	▲2.9	▲3.0	▲2.9	▲2.9
累積債務 (GDP比、%)	46.2	46.9	48.4	46.1	47.9	58.6	61.2	49.0	50.6	47.6	48.9
貿易収支 (GDP比、%)	5.1	5.2	6.1	6.2	6.6	-	-	4.6	4.9	5.5	5.7
経常収支 (GDP比、%)	▲2.4	▲1.2	▲0.3	▲1.7	▲1.4	▲2.1	▲2.3	▲1.6	▲1.1	▲1.8	▲1.5
為替レート (CZK/EUR)	25.1	25.8	25.7	25.8	25.8	-	-	-	-	-	-

注：失業率はILO基準。